

ダイワ・ダイナミック・ インド株ファンド

運用報告書(全体版) 第22期

(決算日 2018年12月17日)

(作成対象期間 2018年6月19日～2018年12月17日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インドの株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先(コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00～17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

<4777>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式		
信託期間	無期限		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資 対 象	ベビーファンド	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	インドの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式(上場予定および店頭登録予定を含みます。)	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIインド指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
	(分配)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
18期末(2016年12月16日)	円	円	%		%	%	%	百万円
18期末(2016年12月16日)	6,323	0	12.2	8,082	10.1	93.3	3.4	17,892
19期末(2017年6月16日)	7,540	0	19.2	9,233	14.2	92.7	2.8	24,133
20期末(2017年12月18日)	8,318	0	10.3	10,324	11.8	95.1	1.8	41,860
21期末(2018年6月18日)	7,828	0	△ 5.9	9,886	△ 4.2	96.3	2.0	37,720
22期末(2018年12月17日)	7,256	0	△ 7.3	9,612	△ 2.8	95.8	2.5	30,947

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIインド指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc. の承諾を得て、MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

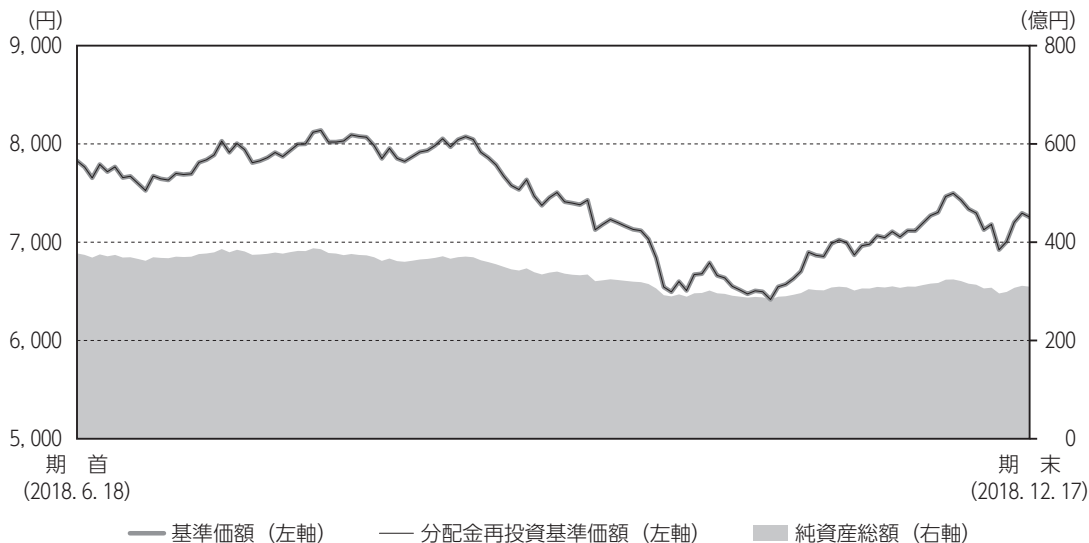
(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：7,828円

期末：7,256円（分配金0円）

騰落率：△7.3%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

マザーファンドを通じてインド株式に投資した結果、金融市場の流動性低下懸念などを背景にした保有株式の下落に加えて、中央銀行の独立性をめぐる政府とRBI（インド準備銀行）の対立などを受けてインド・ルピーが対円で下落したことから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド

年 月 日	基 準 価 額		M S C I イ ン ド 指 数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株 式 先物比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首)2018年6月18日	7,828	—	9,886	—	96.3	2.0
6月末	7,526	△ 3.9	9,485	△ 4.1	95.7	2.0
7月末	8,000	2.2	10,298	4.2	96.1	2.1
8月末	7,916	1.1	10,450	5.7	95.9	2.3
9月末	7,198	△ 8.0	9,781	△ 1.1	94.3	2.4
10月末	6,571	△ 16.1	8,840	△ 10.6	93.0	2.5
11月末	7,464	△ 4.6	9,914	0.3	95.2	2.4
(期末)2018年12月17日	7,256	△ 7.3	9,612	△ 2.8	95.8	2.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2018. 6. 19 ~ 2018. 12. 17)

■インド株式市況

インド株式市況は一進一退の動きとなりました。

インド株式市況は、当作成期首より、原油価格の上昇や世界的な貿易摩擦懸念を背景に、上値の重い展開で始まりました。2018年7月以降は、政府による農作物の最低購入価格の引き上げを受けて農村部経済が活性化すると期待などを背景に、堅調に推移しました。しかし9月以降は、原油高の悪影響、通貨安、米中貿易摩擦の激化に対する懸念などを受けて軟調に推移しました。その後も、大手ノンバンクの債務不履行を受けた金融市場の流動性低下懸念などを背景に投資家心理が悪化し、続落する展開となりました。11月には、原油価格の下落や米国の早期の利上げ打ち止め観測を受けた投資家心理の改善を背景に反発しました。当作成期末にかけては、米中貿易摩擦の動向などに左右される展開となりました。

■為替相場

インド・ルピーは、円に対して下落しました。

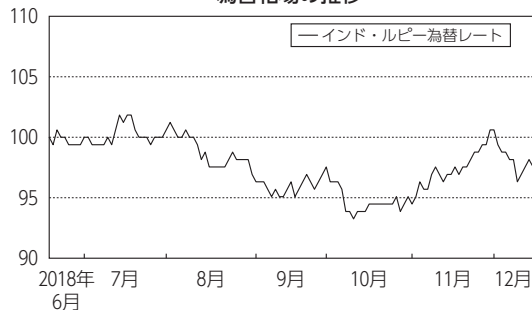
インド・ルピーは、当作成期首より、原油価格の上昇がインド経済に及ぼす悪影響や経常収支赤字の拡大に対する懸念などを受けて対米ドルでは下落しましたが、日米金利差の拡大から円安米ドル高が進行したため、対円ではほぼ横ばい圏での推移となりました。しかし2018年8月以降は、トルコ・リラの急落をきっかけに投資家のリスク回避姿勢が強まる中、経常収支赤字国であるインドのぜい弱性が意識されたことに加えて、原油価格が上昇したことなどから対円で下落しました。11月には米国長期金利の下落を受けて新興国からの資金流出懸念が後退する中、原油価格の下落に伴う経常収支の改善期待などを背景に、対円で上昇しました。しかし当作成期末にかけては、中央銀行の独立性をめぐる政府とRBI（インド準備銀行）の対立などが嫌気され、対円で下落しました。

株価指数の推移



(指数は当作成期首を100として指数化しています。)

為替相場の推移



(為替レートは対円で、当作成期首を100として指数化しています。)

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、中期的に所得水準の上昇による自動車の普及など消費拡大が期待できることから、一般消費財・サービスセクターに注目しています。また、不良債権問題の改善や住宅ローンの拡大などが期待できる金融セクターや、地方経済の活性化の恩恵を受ける生活必需品セクターに注目しています。

ポートフォリオについて

(2018. 6. 19 ~ 2018. 12. 17)

■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

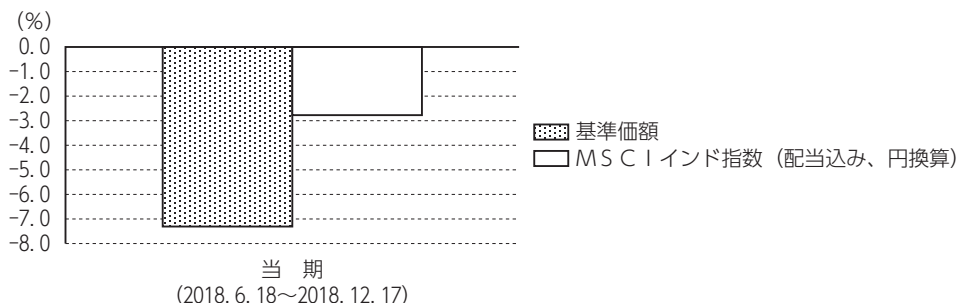
■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主にインフラ（社会基盤）投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行いました。業種では、中長期的に貸出残高、手数料収入の増加、不動産需要の増大などを通じた業績の拡大が見込まれた金融セクター、物価の安定や所得水準の向上などを背景とした民間消費の拡大が見込まれた一般消費財・サービスセクターなどを組入上位としました。個別銘柄では、個人向けローンの拡大などを背景に業績拡大が見込まれた民間銀行大手のHDFC BANK LIMITED（金融）などを買い付けました。一方で、低調な販売動向などから業績見通しが悪化した自動車大手のMARUTI SUZUKI INDIA LTD（一般消費財・サービス）などを売り付けました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインド市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳 (1万口当り)

項 目	当 期	
	2018年6月19日 ～2018年12月17日	
当期分配金 (税込み) (円)		—
対基準価額比率 (%)		—
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		1,040

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、住宅ローンの拡大などが期待できる金融セクターに注目しています。また、政府による農村部の経済活性化プログラムなどを背景に消費拡大が期待されることから、その恩恵を受けやすい生活必需品セクターに注目しています。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2018. 6. 19~2018. 12. 17)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	67円	0. 905%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は7, 407円です。
(投 信 会 社)	(32)	(0. 431)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(32)	(0. 431)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(3)	(0. 043)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	17	0. 234	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(17)	(0. 231)	
(先物・オプション)	(0)	(0. 002)	
有 価 証 券 取 引 税	7	0. 099	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(7)	(0. 099)	
そ の 他 費 用	3	0. 043	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 033)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0. 007)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	95	1. 280	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2018年6月19日から2018年12月17日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	426,805	384,000	5,362,648	4,850,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2018年6月19日から2018年12月17日まで)

項 目	当 期
	ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	24,328,868千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	32,403,154千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.75

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	期 首	□ 数	評 価 額
	□ 数	□ 数	千円
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	40,201,408	35,265,566	30,896,162

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年12月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド	30,896,162	98.7
コール・ローン等、その他	398,475	1.3
投資信託財産総額	31,294,638	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝113.47円、1インド・ルピー＝1.59円です。

(注3) ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(30,625,713千円)の投資信託財産総額(31,380,868千円)に対する比率は、97.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	31,294,638,586円
コール・ローン等	374,475,806
ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド(評価額)	30,896,162,780
未収入金	24,000,000
(B) 負債	347,245,804
未払解約金	40,524,183
未払信託報酬	305,809,857
その他未払費用	911,764
(C) 純資産総額(A-B)	30,947,392,782
元本	42,648,579,000
次期繰越損益金	△ 11,701,186,218
(D) 受益権総口数	42,648,579,000口
1万口当り基準価額(C/D)	7,256円

* 期首における元本額は48,189,489,236円、当作成期間中における追加設定元本額は2,546,942,003円、同解約元本額は8,087,852,239円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は7,256円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は11,701,186,218円です。

■損益の状況

当期 自 2018年 6月19日 至 2018年12月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 85,756円
受取利息	6,185
支払利息	△ 91,941
(B) 有価証券売買損益	△ 2,042,165,386
売買益	348,080,835
売買損	△ 2,390,246,221
(C) 信託報酬等	△ 306,732,597
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	△ 2,348,983,739
(E) 前期繰越損益金	760,192,151
(F) 追加信託差損益金	△ 10,112,394,630
(配当等相当額)	(1,784,194,978)
(売買損益相当額)	(△ 11,896,589,608)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 11,701,186,218
次期繰越損益金 (G)	△ 11,701,186,218
追加信託差損益金	△ 10,112,394,630
(配当等相当額)	(1,784,194,978)
(売買損益相当額)	(△ 11,896,589,608)
分配準備積立金	2,652,122,585
繰越損益金	△ 4,240,914,173

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程 (総額)」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産 (親投資信託) の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：84,024,669円 (未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	1,784,194,978
(d) 分配準備積立金	2,652,122,585
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	4,436,317,563
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	4,436,317,563
(h) 受益権総口数	42,648,579,000口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

運用報告書 第22期 (決算日 2018年12月17日)

(作成対象期間 2018年6月19日～2018年12月17日)

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	インドの金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。）
株式組入制限	無制限

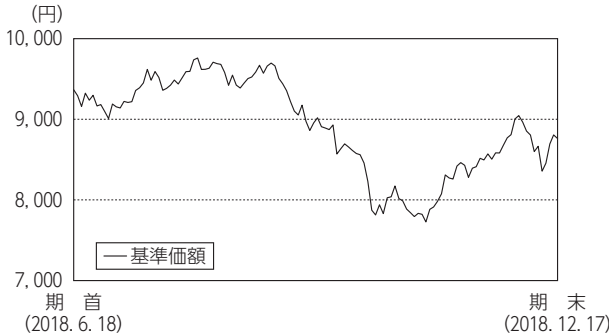
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		MSCIインド指数 (配当込み、円換算)		株式 組入 比率	株式 先比 率
	円	騰落率 %	騰落率 (参考指数)	騰落率 %		
(期首) 2018年6月18日	9,366	—	9,893	—	96.5	2.0
6月末	9,009	△ 3.8	9,492	△ 4.1	95.9	2.0
7月末	9,594	2.4	10,306	4.2	96.3	2.1
8月末	9,507	1.5	10,458	5.7	96.1	2.3
9月末	8,656	△ 7.6	9,788	△ 1.1	94.4	2.5
10月末	7,913	△ 15.5	8,846	△ 10.6	93.1	2.5
11月末	9,004	△ 3.9	9,922	0.3	95.3	2.4
(期末) 2018年12月17日	8,761	△ 6.5	9,619	△ 2.8	96.0	2.5

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) MSCIインド指数(配当込み、円換算)は、MSCI Inc.の承諾を得て、MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。MSCIインド指数(配当込み、インド・ルピーベース)は、MSCI Inc.が開発した株価指数で、同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率ー売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：9,366円 期末：8,761円 騰落率：△6.5%

【基準価額の主な変動要因】

金融市場の流動性低下懸念などを背景にした保有株式の下落に加えて、中央銀行の独立性をめぐる政府とRBI（インド準備銀行）の対立などを受けてインド・ルピーが対円で下落したことから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○インド株式市況

インド株式市況は一進一退の動きとなりました。

インド株式市況は、当作成期首より、原油価格の上昇や世界的な貿易摩擦懸念を背景に、上値の重い展開で始まりました。2018年7月以降は、政府による農作物の最低購入価格の引き上げを受けて農村部経済が活性化すると期待などを背景に、堅調に推移しました。しかし9月以降は、原油高の悪影響、通貨安、米中貿易摩擦の激化に対する懸念などを受けて軟調に推移しました。その後も、大手ノンバンクの債務不履行を受けた金融市場の流動性低下懸念などを背景に投資家心理が悪化し、続落する展開となりました。11月には、原油価格の下落や米国の早期の利上げ打ち止め観測を受けた投資家心理の改善を背景に反発しました。当作成期末にかけては、米中貿易摩擦の動向などに左右される展開となりました。

○為替相場

インド・ルピーは、円に対して下落しました。

インド・ルピーは、当作成期首より、原油価格の上昇がインド経済に及ぼす悪影響や経常収支赤字の拡大に対する懸念などを受けて対米ドルでは下落しましたが、日米金利差の拡大から円安米ドル高が進じたため、対円ではほぼ横ばい圏での推移となりました。しかし2018年8月以降は、トルコ・リラの急落をきっかけに投資家のリスク回避姿勢が強まる中、経常収支赤字国であるインドのぜい弱性が意識されたことに加えて、原油価格が上昇したことなどから対円で下落しました。11月には米長期金利の下落を受けて新興国からの資金流出懸念が後退する中、原油価格の下落に伴う経常収支の改善期待などを背景に、対円で上昇しました。しかし当作成期末にかけては、中央銀行の独立性をめぐる政府とRBI（インド準備銀行）の対立などが嫌気され、対円で下落しました。

◆当作成期末における「今後の運用方針」

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、中期的に所得水準の上昇による自動車の普及など消費拡大が期待できることから、一般消費財・サービスセクターに注目しています。また、不良債権問題の改善や住宅ローンの拡大などが期待できる金融セクターや、地方経済の活性化の恩恵を受ける生活必需品セクターに注目しています。

◆ポートフォリオについて

主にインフラ（社会基盤）投資と消費拡大に注目し、インド経済の長期的な成長の恩恵を享受することをめざして運用を行いました。業種では、中長期的に貸出残高、手数料収入の増加、不動産需要の増大などを通じた業績の拡大が見込まれた金融セクター、物価の安定や所得水準の向上などを背景とした民間消費の拡大が見込まれた一般消費財・サービスセクターなどを組入上位としました。個別銘柄では、個人向けローンの拡大などを背景に業績拡大が見込まれた民間銀行大手のHDFC BANK LIMITED（金融）などを買い付けました。一方で、低調な販売動向などから業績見通しが悪化した自動車大手のMARUTI SUZUKI INDIA LTD（一般消費財・サービス）などを売り付けました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。参考指数はインド市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

主に、インド経済の発展に必要なインフラ（社会基盤）投資と消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中から、株価動向を踏まえ、財務内容が良好で安定的な利益成長が見込まれる企業を中心に組み入れてまいります。業種では、住宅ローンの拡大などが期待できる金融セクターに注目しています。また、政府による農村部の経済活性化プログラムなどを背景に消費拡大が期待されることから、その恩恵を受けやすい生活必需品セクターに注目しています。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	21円 (21)
(先物・オプション)	(0)
有価証券取引税 (株式)	9 (9)
その他費用 (保管費用)	4 (3)
(その他)	(1)
合 計	33

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■主要な売買銘柄
株 式

(2018年6月19日から2018年12月17日まで)

銘 柄	当 期			銘 柄	当 期		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
AXIS BANK LTD (インド)	574.9	573,818	998	MARUTI SUZUKI INDIA LTD (インド)	105.1	1,172,237	11,153
ASIAN PAINTS LTD (インド)	280.6	570,473	2,033	JUBILANT FOODWORKS LTD (インド)	391.6	869,391	2,220
HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD (インド)	184.1	465,378	2,527	MOTHERSON SUMI SYSTEMS LTD (インド)	1,849.504	866,423	468
TATA CONSULTANCY SVCS LTD (インド)	143.1	463,043	3,235	DABUR INDIA LTD (インド)	1,252.4	752,903	601
L&T TECHNOLOGY SERVICES LTD (インド)	159.769	417,277	2,611	INDUSIND BANK LTD (インド)	319.1	752,226	2,357
HDFC BANK LIMITED (インド)	130	409,238	3,147	HINDUSTAN UNILEVER LTD (インド)	282.8	722,204	2,553
EXIDE INDUSTRIES LTD (インド)	931.443	397,371	426	BAJAJ FINSERV LTD (インド)	68.4	705,318	10,311
ITC LTD (インド)	857.8	384,702	448	TITAN CO LTD (インド)	491.867	636,322	1,293
AVENUE SUPERMARTS LTD (インド)	171.7	375,459	2,186	BAJAJ FINANCE LTD (インド)	154.4	619,477	4,012
INDRAPRASTHA GAS LTD (インド)	852.565	348,426	408	HOUSING DEVELOPMENT FINANCE (インド)	195.2	565,732	2,898

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■売買および取引の状況

(1) 株 式

(2018年6月19日から2018年12月17日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 4,122 (3,973)	千アメリカ・ドル 6,396 (—)	百株 2,300	千アメリカ・ドル 2,096
	インド	百株 137,917.84 (6,623.66)	千インド・ルピー 5,878,763 (—)	百株 233,310.09	千インド・ルピー 8,831,404

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2018年6月19日から2018年12月17日まで)

種 類 別	買 建		売 建	
	新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外 国	百万円	百万円	百万円	百万円
株式先物取引	4,632	4,617	—	—

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円		
(アメリカ)						
ICICI BANK LTD-SPON ADR	10,508	12,962	12,715	1,442,852	金融	
INFOSYS LTD-SP ADR	3,093	5,646	5,583	633,604	情報技術	
RELIANCE INDS-SPONS GDR 144A	3,311.06	4,099.06	12,481	1,416,291	エネルギー	
アメリカ・ドル通貨計	株数、金額	16,912.06	22,707.06	30,781	3,492,748	
	銘柄数 < 比率 >	3銘柄	3銘柄		<11.3%>	
	百株	百株	千インド・ルピー	千円		
(インド)						
NBCC INDIA LTD	29,391.16	—	—	—	資本財・サービス	
CHOLAMANDALAM INVESTMENT AND ESCORTS LTD	903.09	903.09	111,034	176,545	金融	
ICICI PRUDENTIAL LIFE INSURANCE	1,821	—	—	—	資本財・サービス	
BALKRISHNA INDUSTRIES LTD	5,993.19	5,993.19	186,328	296,261	金融	
EDELWEISS FINANCIAL SERVICES	—	929	86,977	138,294	一般消費財・サービス	
AVENUE SUPERMARTS LTD	7,053	—	—	—	金融	
HDFC STANDARD LIFE INSURANCE	—	1,717	273,775	435,303	生活必需品	
JAMNA AUTO INDUSTRIES LTD	9,796.11	12,312.11	485,220	771,500	金融	
AU SMALL FINANCE BANK LTD	33,337.91	16,709.73	106,440	169,241	一般消費財・サービス	
BANDHAN BANK LTD	—	2,838.79	179,368	285,196	金融	
L&T TECHNOLOGY SERVICES LTD	—	2,986.92	159,441	253,512	金融	
HDFC ASSET MANAGEMENT CO LTD	—	1,597.69	261,342	415,534	資本財・サービス	
RP-SG RETAIL LTD	—	1,841	287,766	457,549	金融	
TATA STEEL LTD	—	1,333.8	42,459	67,510	その他	
AXIS BANK LTD	6,065	—	—	—	素材	
MARUTI SUZUKI INDIA LTD	4,252	10,001	620,312	986,296	金融	
COLGATE PALMOLIVE (INDIA) ACC LTD	2,206.5	1,155.5	885,361	1,407,724	一般消費財・サービス	
ASHOK LEYLAND LTD	2,054.03	1,432.68	187,917	298,788	生活必需品	
ASIAN PAINTS LTD	—	897	134,339	213,599	素材	
NESTLE INDIA LTD	21,061	—	—	—	資本財・サービス	
HINDUSTAN UNILEVER LTD	—	2,806	376,270	598,270	素材	
STATE BANK OF INDIA	197	296	325,182	517,040	生活必需品	
TATA GLOBAL BEVERAGES LTD	6,361.22	3,533.22	657,373	1,045,223	生活必需品	
VOLTAS LTD	8,717	8,717	252,095	400,832	金融	
NCC LTD	6,124	—	—	—	生活必需品	
CESC LTD	3,278	—	—	—	資本財・サービス	
CONTAINER CORP OF INDIA LTD	—	10,504	86,500	137,535	資本財・サービス	
TITAN CO LTD	2,223	2,223	155,354	247,013	公益事業	
BAJAJ FINSERV LTD	1,753.22	1,628.36	105,949	168,459	資本財・サービス	
EXIDE INDUSTRIES LTD	4,918.67	—	—	—	一般消費財・サービス	
ULTRATECH CEMENT LTD	684	—	—	—	金融	
KOTAK MAHINDRA BANK LTD	5,507.8	14,822.23	381,894	607,212	一般消費財・サービス	
ADITYA BIRLA FASHION AND RET	446	446	178,625	284,014	素材	
BRITANNIA INDUSTRIES LTD	5,598	5,598	703,080	1,117,898	金融	
CUMMINS INDIA LTD	—	7,116.29	141,792	225,449	一般消費財・サービス	
DIVI'S LABORATORIES LTD	922.63	1,845.26	578,627	920,017	生活必需品	
INDRAPRASTHA GAS LTD	—	1,568	126,757	201,543	資本財・サービス	
MOTHERSON SUMI SYSTEMS LTD	1,502.2	1,502.2	224,038	356,220	ヘルスケア	
MPHASIS LTD	—	8,525.65	215,954	343,367	公益事業	
PETRONET LNG LTD	18,495.04	—	—	—	一般消費財・サービス	
	2,318	—	—	—	情報技術	
	9,168	—	—	—	エネルギー	

ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド

銘柄	株数	首数	当期		業種等		
			株数	株数		期末	
						外貨建金額	邦貨換算金額
		百株	百株	千インド・ルピー	千円		
SHREE CEMENT LTD	72.09	72.09	72.09	121,743	193,572	素材	
THERMAX LTD	—	780	780	86,006	136,750	資本財・サービス	
INDUSIND BANK LTD	4,474	1,283	1,283	205,773	327,180	金融	
PRESTIGE ESTATES PROJECTS	8,869.84	—	—	—	—	不動産	
JUBILANT FOODWORKS LTD	1,958	—	—	—	—	一般消費財・サービス	
EICHER MOTORS LTD	89.6	60	60	142,296	226,252	一般消費財・サービス	
BAJAJ FINANCE LTD	1,713	830	830	206,367	328,123	金融	
MAHINDRA & MAHINDRA FIN SECS	9,220	9,220	9,220	419,095	666,361	金融	
MINDTREE LTD	2,775	2,775	2,775	240,842	382,939	情報技術	
GAIL INDIA LTD	4,821.33	9,691.33	9,691.33	340,407	541,248	公益事業	
HINDALCO INDUSTRIES LTD	16,448	8,482	8,482	186,731	296,902	素材	
TATA CONSULTANCY SVCS LTD	—	1,431	1,431	284,733	452,725	情報技術	
LARSEN & TOUBRO LTD	6,241.5	6,241.5	6,241.5	880,925	1,400,671	資本財・サービス	
TATA MOTORS LTD	10,584.77	—	—	—	—	一般消費財・サービス	
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE	6,552	4,600	4,600	875,886	1,392,658	金融	
HDFC BANK LIMITED	10,034.4	11,334.4	11,334.4	2,375,350	3,776,806	金融	
RELIANCE INDUSTRIES LTD	2,547	3,346	3,346	372,142	591,705	エネルギー	
OIL & NATURAL GAS CORP LTD	—	6,132	6,132	90,048	143,176	エネルギー	
ITC LTD	—	8,578	8,578	236,538	376,095	生活必需品	
MAHINDRA & MAHINDRA LTD	1,710	1,717	1,717	130,019	206,731	一般消費財・サービス	
HERO MOTOCORP LTD	1,784	1,784	1,784	591,333	940,220	一般消費財・サービス	
DABUR INDIA LTD	8,779	—	—	—	—	生活必需品	
INDIAN HOTELS CO LTD	—	10,259.68	10,259.68	153,946	244,774	一般消費財・サービス	
VEDANTA LTD	10,344	—	—	—	—	素材	
インド・ルピー通貨計	株数、金額	311,165.3	222,396.71	16,457,771	26,167,856		
	銘柄数 < 比率 >	48 銘柄	49 銘柄		< 84.7% >		
ファンド合計	株数、金額	328,077.36	245,103.77	—	29,660,605		
	銘柄数 < 比率 >	51 銘柄	52 銘柄		< 96.0% >		

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の銘柄別期末残高 (評価額)

銘柄別	当期末	
	買建額	売建額
外国 SGX NIFTY 50 (シンガポール)	百万円 774	百万円 —

(注1) 外貨建の評価額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2018年12月17日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	29,660,605 千円	94.5 %
コール・ローン等、その他	1,720,263	5.5
投資信託財産総額	31,380,868	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、12月17日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=113.47円、1インド・ルピー=1.59円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(30,625,713千円)の投資信託財産総額(31,380,868千円)に対する比率は、97.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2018年12月17日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	31,380,868,331円
コール・ローン等	1,438,041,395
株式(評価額)	29,660,605,031
未収入金	27,083,257
未収配当金	2,353,200
差入委託証拠金	252,785,448
(B) 負債	484,505,213
未払金	460,503,560
未払解約金	24,000,000
その他未払費用	1,653
(C) 純資産総額(A-B)	30,896,363,118
元本	35,265,566,466
次期繰越損益金	△ 4,369,203,348
(D) 受益権総口数	35,265,566,466口
1万口当り基準価額(C/D)	8,761円

* 期首における元本額は40,201,408,545円、当作成期間中における追加設定元本額は426,805,965円、同解約元本額は5,362,648,044円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド35,265,566,466円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は8,761円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,369,203,348円です。

■損益の状況

当期 自 2018年6月19日 至 2018年12月17日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	219,252,625円
受取配当金	217,324,847
受取利息	657,120
その他収益金	1,416,276
支払利息	△ 145,618
(B) 有価証券売買損益	△ 2,481,477,099
売買益	1,465,858,121
売買損	△ 3,947,335,220
(C) 先物取引等損益	△ 15,117,381
取引益	110,059,319
取引損	△ 125,176,700
(D) その他費用	△ 13,757,257
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	△ 2,291,099,112
(F) 前期繰越損益金	△ 2,547,946,315
(G) 解約差損益金	512,648,044
(H) 追加信託差損益金	△ 42,805,965
(I) 合計(E+F+G+H)	△ 4,369,203,348
次期繰越損益金(I)	△ 4,369,203,348

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。